

令和8年度 第1回 名西高等学校 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和8年6月22日（月）午前10時から正午まで

2 場 所 名西高等学校 会議室

3 参加者

○委員（10／11名）1名欠席

河崎会長、喜多委員、久米委員、黒川委員、小林委員、清水委員、田中委員、
谷委員、長谷川委員、乾副会長（学校長）、※欠席：臼井委員

○事務局（学校関係者7／8名）1名欠席

村上教頭、正木教頭、栗飯原教頭、阿部総務課長、佐藤教務課長、横田進路課長、
吉田芸術科長 ※欠席：村山生徒指導課長

4 内 容

（1）自己紹介

（2）任 命

（3）役員改選

会長として河崎藤花同窓会長、副会長として乾学校長が承認された。

（4）協 議

ア 学校運営方針・名西高校の特色ある取組について

乾学校長から次の項目について説明、承認された。

- 本校の教育目標について
- 核心コンセプト：エラー&ラーン×学びのかけ算
- 2029年 学区制全撤廃への生存戦略
- 芸術科の魅力：地域への創造発信
- 攻めの経営：教職員の熱意と外部予算の確保
- 普通科教育の魅力化・特色化：探究学習の深化
- 名高の本質：オーダーメイドの自立・進路支援
- 攻めの情報発信：公式Instagram試行

イ 教育課程の編成について

佐藤教務課長・栗飯原教頭から説明、承認された。

ウ 学校評価総括評価票における評価項目、評価指標等について

村上教頭・栗飯原教頭から説明、承認された。

エ 令和7年度の受賞歴等について

村上教頭・栗飯原教頭から説明された。

○箏曲部の部屋の環境（研修会館に冷房設備がない）について。練習に集中できる環境を整えて欲しい。

⇒学校回答

箏曲部だけでなく、美術の部屋などまだ整備できていない部屋がある。県に要望はしており、クーラーなどを順次、設置を進めてもらっている。

オ 委員からの意見・質問等

○生徒一人一人に目を向け、生徒が安心して相談できる体制を構築するとともに、生徒からの相談や些細な変化にも早期に対応し、きめ細かな指導をお願いしたい。

⇒学校回答

- ・教職員研修を実施し、教員の資質・指導力の向上に努めている。
- ・学校生活アンケートを実施し、いじめ等の早期発見・早期対応に努めている。
- ・スクールカウンセラーによる相談体制を整備し、教員以外にも相談できる環境を整えている。
- ・県の「SOSを見逃さない匿名アプリ」を活用し、匿名で相談できる体制も整備されている。

○書道部の文部科学大臣賞をはじめ、多くの賞を受賞しており、大変素晴らしい。

○タブレット端末の不具合について、その後の活用状況を教えてほしい。

⇒学校回答

- ・不具合のあった端末はすべて回収し、代替機が配布されている。
- ・現在は充電器が不足しているため、校内での利用が中心となっているが、授業では十分に活用できている。今後は家庭への持ち帰りについても検討している。
- ・ICT活用に向けた教員研修を実施し、「MetaMoji」や「Classroom」などのアプリも活用している。

○台湾姉妹校研修の参加者はどのように選考したのか。

⇒学校回答

- ・1・2年生を対象に募集を行い、希望者全員が参加した。令和7年度は21名が参加した。

○卒業生がお世話になっており、感謝している。

○学区制撤廃に向けて、中学生から選ばれる学校となるためには、学校の魅力を積極的に発信していくことが重要である。

○名西高校ならではの探究活動をさらに充実させ、学校の伝統・校風として定着させることが、学校の魅力向上につながる。

○学区制撤廃後の生徒数減少を踏まえ、芸術科だけでなく普通科にも特色ある取組が必要である。少人数指導などの強みを生かし、普通科の魅力を発信してほしい。

⇒学校回答

- ・生徒一人一人に応じたきめ細かな学習指導を実施している。
- ・夏季休業中の補習の見直しを進めるとともに、学年を越えて学び合う「寺子屋」のような学習会を計画している。
- ・普通科の特色ある取組についても積極的に発信していきたい。

○海外留学や国際交流に関する支援について教えてほしい。

⇒学校回答

- ・現在は渡航費等を考慮し、台湾との交流を中心に実施しているが、過去に交流のあったドイツやニュージーランドとも、オンライン交流などを含め、再開を検討している。

- ・多文化共生や国際的な視野を育むための講演会等も実施する予定である。

○石井町との連携を積極的に進めていただいております、大変ありがたい。生徒のボランティア活動や地域貢献活動についても広く紹介してほしい。

○芸術科卒業生として、多くの受賞実績を誇りに思う。受賞作品だけでなく、多くの優れた作品を地域へ公開する機会があればよい。

○石井町全体が芸術文化への関心を高め、「芸術のまち」として発展することで、名西高校の価値向上にもつながると考える。

○探究学習の課題や今後のAI活用について教えてほしい。

⇒学校回答

- ・生徒の興味・関心を引き出し、主体的な学びにつなげるためには、地域や専門家との連携が不可欠であり、外部人材とのネットワークやコーディネーターの配置が望まれる。
 - ・AIについては、教科の特性に応じて疑問点の整理などに活用しており、効果的な活用を進めている。
 - 学校運営協議会の運営方法については、少人数での意見交換や対話形式を取り入れるなど、実施方法を見直してはどうか。
 - 学校の特色や教育目標について丁寧に説明していただき、感謝している。
 - 学校運営協議会を通して、今後も協議を重ね、協力できることがあれば積極的に支援したい。
 - 学区制撤廃を見据え、他校との差別化を図るため、名西高校のブランディングを計画的に進めることが重要である。
 - 卒業生との連携にはどのような取組があるのか。
- ⇒学校回答
- ・名高フェスティバルでは、音楽コース卒業生でプロキーボーディストのGakushi氏に演奏会のプロデュースや技術指導、演出を依頼している。今後も卒業生とのつながりを大切にしていきたい。
 - 学校の魅力づくりには、生徒が多様な経験や体験を通して成長する姿を大切にすることが重要であり、その経験が新たな挑戦につながる。
 - 「縄文人であれ！（常に問い続ける人であれ）」という言葉のように、常に課題意識を持って挑戦し続けてほしい。